

経済危機から暮らしと営業守れ、戦争協力やめよ

大変な政治情勢、経済状況の中で新しい年を迎え、今年こそ明るい展望の見える年にしたいと決意しています。

イラク情勢も緊迫しており、イギリス艦の派遣など危険な動きが強まっています。戦争に反対し、有事法制化の阻止にむけ頑張ります。

国民生活は、小泉流改革で耐え難

い痛みをおしつけられています。小泉内閣は政治、経済、外交でも救いようのない自己破たんにあちいつています。

日本共産党は外交、内政、経済でも建設的な対案をもち、国民の利益を守るために頑張っています。いつせいで地方選挙、解散・総選挙も流動的な選挙の年、全力で奮闘します。



矢島つねお衆院議員

ゆうパック商法の 利権を追及

矢島議員は十一月十四日の総務委員会、ゆうパックを利用したカタログ販売について、郵便局員にノルマを課して売上を追求しているにもかかわらず、そのカタログ販売事業者と郵便局の間に契約関係がないことを指摘し、こうした仕組みで巨額の利益を上げているカタログ販売事業者が天下り組織であることを暴露。不明朗なゆうパック商法の是正を求めました。

公務員給与引下げ 「国民への痛み 押しつけ」政策をやめよ

小泉内閣は、二〇〇二年度公務員給与を、四年連続マイナスに加えて、金額で十五万円マイナス、率で二・三%

マイナスの法案を国会に提出。

十一月八日、総務委員会で質問にたった矢島議員は、「小泉内閣の国民への負担増政策は、社会保障で三兆円を超える負担増計画や、国民と中小企業への増税計画、外形標準課税その他を押しつけている。公務員給与の削減もそう。公務員労働者とその家族だけでなく、関連する方や年金にも連動し、国民生活に計り知れない影響を及ぼす」と指摘。「大型公共事業や軍事費も、聖域なき削減の切り込みをなぜやらないのか。やることが逆さまだ」と厳しく迫りました。

NHKは、集金労働者と 「雇用関係」認めよ

矢島議員は十二月十二日の総務委員会で、NHKが四千数百人の集金労働者との「雇用関係」を認めず、雇用、年



NHKの集金労働者との雇用を認めよと追及（十二月十二日、衆院総務委員会）

金、労災の加入を怠っている問題を追及しました。

矢島議員は、集金労働者がNHKの財政基盤の支え役となっていることとあわせて、仙台高裁が、「NHKと雇用関係にある労働者と解するのが相当」との判決を下していることを指摘。NHKに、集金労働者との「雇用関係」を認めよと迫りました。

塩川てつや衆院議員

中小企業つぶす 不良債権処理 加速策やめよ

十二月二日の予算委員会では、年末を迎えて深刻な中小企業の資金繰りや失業問題について小泉内閣の姿勢を追及しました。

塩川議員は、超低金利の時代に金利引き上げの異常事態がおきていることや四大金融グループが、この一年間で二十四兆円の貸しはがしを加速している実態を示し「不良債権処理の加速しないで景気回復はない」と居直る小泉首相にたいし「失業や中小企業の倒産を増やすだけだ。加速策を転換すべきだ」と迫りました。

また、失業者が増えているのに、雇

原発の事故隠し ——原発を扱う資格ない

十一月十二日、東電などの原発不正事件の関連法案で本会議質問。「安全に関して国民をだます者に、危険な原発を扱う資格はない」、事件の背景には「原発の安全性に対する過信、安全神話がある」と追及。原発推進の経済産業省から独立した、原子力規制機関の確立、プルサーマル計画の根本的見直しを要求しました。

国とメーカーの責任で ディーゼル排ガスを 低減装置を

低減装置を

塩川議員は、十一月六日の経済産業委員会で、自動車排ガス公害裁判で初の自動車メーカーの社会的責務をもちこんだ東京大気汚染裁判の東京地

裁判決にふれながら「国、自動車メーカーの責任は免れない」と現在使用されているディーゼル車などに、今年十月から施行された自動車NOx・PM法や、首都圏一都三県の規制条例に対応した排ガス対策を求めました。平沼経済産業相は「使用中の自動車への後付け排ガス浄化装置について自動車メーカーが一日も早く開発できるように努力を奨励したい」と答えました。

借り換え保証制度 国が創設へ

——中小業者の要求実る

中小企業の厳しい資金繰りに対応するため、経済産業省は借換保証制度の創設を決定しました。

京都や埼玉など自治体段階で借換融資制度を実施しているところがありますが、「国でも実施を」との声にこたえ、塩川議員は十一月一日の経済産業委員会で、借換保証制度の創設を要求していました。

売り上げ減による既往債務の返済負担が重い中小業者から「画期的」と注目されています。

ホームページもごらんください

●塩川てつや議員のホームページ
<http://www.cpi-media.co.jp/shiokawa/>

●矢島つねお議員のホームページ
<http://www.cpi-media.co.jp/yajima/>

現地調査し
対策求める

環境省が新法を準備



産廃の不法投棄の現場を調査する矢島・藤木議員ら
(11月16日、群馬・太田市)

化を起こし変色した土と鼻をつく刺激臭、産業廃棄物とみられるものが確認されました。

硫化水素も検出されている埼玉県三芳町上富の「ゴミ山」問題では、最大で二〇メートルにもなる産廃の山の現状を視察しました。

これらの調査をふまえ、環境省に対策をもとめたところ、現状回復などの処置をおこなうための新規立法を準備中であることを明らかにしました。

産業廃棄物の不法投棄や山積み・埋め立てなどが北関東ブロック各地で周辺住民の不安や関係自治体も含め社会問題になっていきます。こうしたなかで、不法投棄・放置産廃の撤去を求める運動も市民団体や日本共産党地方議員団によって、ひろがっています。

この間、塩川衆院議員が栃木県大谷石採石場跡地の産廃埋め立てや埼玉県三芳町の産廃山積み問題、矢島衆院議員が群馬県太田市の産廃埋め立てなどを現地調査してきました。

群馬県太田市の利根川と石田川が合流する地点で産業廃棄物が不法に投棄されている問題では、二カ所を試掘。高林南では木くずやレンガ、タイルなどが大量に出て、古戸町では化学変

環境省によると過去の不法投棄については責任追及の困難さや処理費用の請求に限界があるとして、一九九八年六月施行の改正廃棄物処理法以前のものを対象に都道府県の計画にもとづき原状回復を図り、処理費用についても1/3を補助する——など新法の内容を説明しました。



山のように野積された放置廃棄物を調査する塩川議員ら
(12月20日、埼玉・三芳町)

違法な退職強要はやめよ

富士通の大規模リストラで申し入れ



富士通のリストラ問題で申し入れる、矢島・木島議員ら
(10月7日)

富士通が栃木県・長野県で大規模リストラを実施している問題で十月七日、矢島・木島両衆院議員は秋草社長あてに日本共産党栃木・長野県委員会が要請・申入書を手渡しました。

この申し入れには、野村党国

会議員団栃木県事務所長、横党衆院栃木三区予定候補も参加。両氏は、違法な退職強要はおこなわず、子会社配転でも労働条件を切り下げないこと等を求めました。

矢島議員は、今回のリストラ計画の発表から締め切りまで二週間しかなく、「締め切り日以降は自己退職になる」と会社側から脅かされたという相談があったとのべ、「労働者にとつては一生の問題。ただちにやめるべき」だとだしました。応対した富士通政策推進本部の辛木課長は「上部に伝えたい」と答えました。

新ガイドラインのもとで

自衛隊・米軍施設の再編・強化が

防衛医学研究センターを調査



防衛医学研究センターで説明を受ける塩川議員ら
(11月18日、埼玉・所沢市)

塩川衆院議員は十一月十八日、埼玉県所沢市にある防衛医大付属医学研究センターを視察しました。有事法案審議とからみ同センターでの有事対応研究の危険性を懸念したもので、柳下・飯島両埼玉県議、所沢市議、平山日本平和委員会理事らが同行しました。

センター内では放射能、圧力など環境の変化に伴う生体反応を調べる「異常環境衛生研究部門」が入間基地での航空医学実験隊と連携していることを担当者で説明。「行動科学研究部門」ではPKO派遣自衛官の精神ストレスについて研究していることもわかりました。

塩川議員は「災害時のための

研究と言うが、有事に対応することも可能と感じた。センターの現状をもっと住民に知らせなければ」と話しました。このあと一行は所沢市の深田助役とも懇談し、米軍所沢基地の東西道路の問題などを話しあいました。

原子力政策の転換を

党茨城県委が小泉首相に申し入れ

日本共産党茨城県委は十月二十四日、小泉首相あてに原子力政策の転換を求める要望書を提出しました。申し入れたのは、大内県議、東海村の佐藤・大名両村議らと矢島・塩川両衆院議員が同席しました。

申し入れ内容は、①原子力の推進機関と規制機関を分離し、独立した規制機関を設置する②ブルトニウム利用計画、核燃料サイクル東海再処理工場の運転中止 ③日本原子力研究所と核燃料サイクル開発機構の統合の凍結など5項目です。

応対した内閣府政策統括官付の榊原参事官らにたいし大内県議らは「一連の事故とその隠ぺ

いで、原子力の安全性への国民の信頼が揺らいでいる。いま原子力政策を根本的に問わず、原子力安全・保安院を分離しないことは、国民意識に逆行する」「国民の安全を棚にあげて、統合をすすめることは許されない」と問題点を追及しました。



茨城県の代表らと原子力政策の転換で内閣府に申し入れる、矢島・塩川議員ら
(10月24日)

矢島・塩川 衆院議員の 活動スナップ



茨城県議選で山中候補への支持を訴える塩川議員(十一月五日、茨城つくば市)



全建総連の代表から建設国保充実の陳情を受ける矢島議員(十二月六日、国会)



福島第二原発2号機の事故隠して調査する塩川・吉井議員ら
(9月12日)



中小企業振興と資金対策を平沼経産大臣に要請する中小業者団体の代表と塩川議員
(9月18日)



無登録農業問題で生産農家から実情を聞く矢島・富樫議員
(9月27日、群馬・尾島町)



旧陸軍建造物の保存で現地を訪れ要望を聞く矢島議員(十一月十八日、埼玉・上福岡市)



赤旗まつり・栃木県決起集会であいさつする矢島・塩川・吉川議員
(11月3日)